

G 7 財務大臣・中央銀行総裁会議は、主要先進国のマクロ経済政策の責任者等が一堂に会し、世界経済情勢やマクロ経済政策、開発途上国支援等、世界経済に関する諸課題への対応を幅広く協議する会議。最近では、ロシアのウクライナに対する侵略戦争の経済的影響への対応等を議論。

G7財務大臣・中央銀行総裁会議の概要

- 1986年の東京サミットにおいて設立に合意。
- 7か国の財務大臣及び中央銀行総裁、欧州委員会委員、欧州中央銀行総裁、ユーログループ議長が参加。IMF専務理事、世界銀行総裁など、国際機関も招待。



(図) 2022年5月財務大臣・中央銀行総裁会議（於：独）



(図) 今回の会議が予定されている新潟市内の様子

2023年のG7財務トラックにおけるプライオリティ

- 2023年のG7議長国を務める日本は、以下の3つの柱を財務トラックにおけるプライオリティとして議論。
- ウクライナ支援や途上国の債務問題といった喫緊の課題への対応
- 気候変動対策や国際保健、経済安全保障及び金融デジタル化などによる世界経済の強靱化
- デジタル化等の経済社会構造の大変容を踏まえた、多様な価値を踏まえた経済政策の推進